

令和8年度 町単 まちづくり共創推進体制整備業務委託プロポーザル審査会 採点表

大項目	小項目	評価基準（着眼点）	配点	評価欄	5点（大変優れている）	4点（優れている）	3点（標準的）	2点（やや劣っている）	1点（劣っている）
1. 業務方針と課題の理解度	(1) 課題の的確な把握	軽井沢町の現状課題（担い手不足、新旧住民の交流不足など）を、客観的な事実や過去のデータに基づいて正確に把握しているか。	20点	5	客観的データに基づき的確かつ深く把握している	データに基づき的確に把握している	概ね把握している	把握がやや不十分である	把握していない
	(2) 概念の論理的定義	「共感と共創」の定義が抽象的な表現にとどまらず、論理的かつ具体的なアプローチとして提示されているか。		5	定義が極めて論理的かつ具体的に提示されている	論理的かつ具体的に提示されている	概ね論理的に提示されている	やや抽象的である	抽象的で具体性に欠ける
	(3) 行政の役割の理解	行政に判断を委ねるのではなく、行政を「制度面・情報面での接続役」として適切に機能させる方針が示されているか。		5	接続役として機能させる方針が極めて明確に示されている	明確に示されている	概ね示されている	認識がやや不十分である	理解しておらず行政に丸投げしている
	(4) 提案の実現可能性	提案全体が仕様書の目的を捉えており、実行可能で実効性のある内容になっているか。		5	目的を完全に捉え、極めて実効性の高い内容になっている	目的を捉え、実効性のある内容になっている	概ね目的を捉え、実行可能な内容である	実現可能性にやや懸念がある	実現可能性が乏しい
2. 業務実施体制と専門性	(1) 専門家の確実な配置	財務・法務・組織開発などの実務的な専門家（公認会計士、税理士、弁護士など）が具体的に配置され、団体を直接支援できる体制か（必須要件）。	20点	5	専門家が具体的に配置され、支援体制が極めて充実している	専門家が配置され、支援体制が整っている	専門家が配置されている（標準的）	専門家の配置や体制がやや不十分である	専門家が配置されていない
	(2) 体制の分離と権限	意思決定と後方支援を行う「コアチーム」と、現場の窓口となる「共創コーディネーター」の役割と権限が明確に分けられているか。		5	役割と権限が極めて明確に分離・設計されている	役割と権限が明確に分離されている	役割と権限が概ね分離されている	分離や権限がやや曖昧である	役割が分離されておらず曖昧である
	(3) 管理責任者・担当者の適格性	事業を的確に遂行する人材が配置され、十分な業務遂行能力が期待できるか。		5	業務遂行能力が十分期待でき、極めて適格である	業務遂行能力が期待でき、適格である	業務遂行能力が概ね期待できる	業務遂行能力にやや懸念がある	業務遂行能力が期待できない
	(4) 危機管理・支援体制	トラブル時や突発的な課題に対し、コアチームや専門家が迅速に対応できる体制が整っているか。		5	迅速・的確に対応できる体制が極めて万全である	対応できる体制が整っている	対応体制が概ね整っている	対応体制にやや不安がある	対応体制が整っていない
3. 具体的な業務企画（4つの機能の実現）	(1) 場をつくる機能	多様な参加者（企業含む）が、意見を述べるだけでなく、当事者として対等に参加できる対話会のデザインがなされているか。	20点	5	対等に参加できる優れたデザインが極めて具体的に提案されている	優れたデザインが提案されている	概ね適切なデザインが提案されている	デザインの具体性や対等性にやや欠ける	適切なデザインがなされていない
	(2) つながり機能	対話から生まれたアイデアを、実現性の高い実践活動（プロジェクト）へと具体的に結びつける手法が示されているか。		5	実践活動へ結びつける手法が極めて具体的かつ優れている	具体的な手法が示されている	概ね適切な手法が示されている	手法がやや抽象的である	手法が示されていない
	(3) 支える機能	新たに始まる活動や既存の団体に対し、専門家による直接的かつ実務的な伴走支援の手法が組み込まれているか。		5	専門家による実務的な伴走支援の手法が極めて優れている	実務的な伴走支援の手法が組み込まれている	概ね適切な支援手法が組み込まれている	支援手法がやや抽象的・不十分である	支援手法が組み込まれていない
	(4) 広める機能	これまで注目されにくかった地域活動（区活動や環境美化など）の価値を広く周知し、参加拡大につながる戦略的な広報が提案されているか。		5	戦略的かつ極めて効果的な広報が提案されている	戦略的な広報が提案されている	概ね適切な広報が提案されている	広報の戦略性や効果がやや薄い	広報の提案がない・不十分である
4. 地域特性の理解と連携ネットワーク	(1) 既存の地縁組織への理解と支援	区、消防団、民生福祉委員などの既存組織の重要性を理解し、その活動を正当に評価し支援する姿勢があるか。	20点	5	既存組織への深い理解と、極めて適切な支援姿勢がある	既存組織への理解と支援姿勢がある	既存組織への理解と支援姿勢が概ねある	理解や支援姿勢がやや不十分である	理解や支援姿勢に欠ける
	(2) 既存支援組織との役割分担	社会福祉協議会ボランティアセンターなど、すでにある組織との連携ルールや明確な役割分担が提案されているか。		5	既存支援組織との連携・役割分担が極めて明確である	連携・役割分担が明確に提案されている	連携・役割分担が概ね提案されている	連携・役割分担の提案がやや曖昧である	連携・役割分担の提案がない
	(3) 多様な人材の参画促進	新たな住民や二拠点居住者など、多様な人々の特性を把握し、活動の担い手として参加を促す工夫があるか。		5	多様な人材の参加を促す工夫が極めて効果的である	参加を促す工夫がなされている	参加を促す工夫が概ねなされている	参加を促す工夫がやや不足している	参加を促す工夫がない
	(4) 提案の地域適合性と独自性	軽井沢町の文化や風土に合致しつつ、事業効果を高める独自の工夫がなされているか。		5	地域に完全に合致し、独自の工夫が極めて優れている	地域に合致し、独自の工夫がなされている	地域に概ね合致し、標準的な工夫がある	地域への適合性や独自性がやや薄い	地域に合致しておらず、工夫もない
5. データ分析・実績・予算計画	(1) データ分析力と目標設定（KPI）	アンケートや対話から得た客観的データに基づき、活動を評価・改善するための目標設定（KPI）と分析手法が論理的か。	20点	5	KPI設定と分析手法が極めて論理的かつ妥当である	KPI設定と分析手法が論理的である	KPI設定と分析手法が概ね示されている	KPI設定や分析手法がやや曖昧である	KPI設定や分析手法が示されていない
	(2) 業務の実績と経験	同種または類似業務における豊富な実績があり、確かな成果を上げているか。		5	豊富な実績を有し、極めて優れた成果を上げている	実績を有し、確かな成果を上げている	標準的な実績と成果を有している	実績や成果がやや乏しい	実績や成果がない
	(3) 次年度以降への計画	単年度で終わらず、令和9年度以降の地域主体の運営に向けた段階的な移行計画が提案されているか。		5	次年度以降の移行計画が極めて明確かつ現実的である	段階的な移行計画が提案されている	段階的な移行計画が概ね提案されている	移行計画がやや曖昧である	移行計画が提案されていない
	(4) 予算計画・費用対効果	専門家への報酬や会場費等を含め、予算上限の範囲内で現実的に積算されており、高い費用対効果が見込めるか。		5	積算が極めて現実的で、非常に高い費用対効果が見込める	積算が現実的で、高い費用対効果が見込める	積算が適切で、相応の費用対効果が見込める	積算の根拠や費用対効果にやや疑問がある	積算が不適切で、費用対効果が見込めない